

事務事業名	石綿セメント管更新事業	担当部局	市長部局 上下水道部
基本目標	美しいゆとりある快適環境と景観づくり(環境・都市基盤)	担当課名	水道施設課
施策体系	安全で快適な暮らしづくり(水道水供給)	担当係名	工務係
施策	水の安定供給を進める		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	水道事業は、昭和40年に事業認可を得て供用を開始し、平成17年度末の普及率は95.4%である。今後も全市給水を目指し推進する中、30年以上の老朽管が埋設されている。災害による破損断水の防止又布設替えをすることにより漏水が少なくなり有収率を上げ飲料水の安定供給を図る。		
事業の期間(開始/終了)	平成9年 月 / 年 月		
根拠法令、条例、規則など	水道法		
事業が対象としている人(モノ)	布設替え延長		
具体的な活動内容	年次計画の中での老朽管の布設替		
	漏水が多いところからの布設替		
	各課の事業に併せての布設替		
事業の成果	漏水の防止をはかることにより不明水が減少する。		
	不明水が減少し、有収率をあげられる。		

2. 事業の評価

項目	説明
必要性	5 ますます必要性は高くなっている 布設替えの残延長が約71kmあり、維持管理、有収率を上げるために最優先で行わなければならない事業である。
	5 行政以外にはできない事業である 事業認可を受けている水道事業管理者が指導・監督を行い実施する。
公平性	4 目的とした対象者に対しては、概ね広く便益を提供している
	4 現在のやり方(手段)が一般的であり、特に問題はない 老朽管の布設年度・漏水が多い箇所・各事業課の工事等を考慮している。
有効性	2 やや目標を下回っており、改善が必要である。 水道事業全体の予算の範囲内での執行であるので、現状が限界である
	2 効率は徐々に低くなっている(コストは若干増加している) 漏水による不明水、老朽管による濁り水の排泥等により、有収率が低下している。

総合評価	石綿セメント管の布設替は、災害時の断水防止、飲料水の確保、漏水による不明水、濁り水による排泥処理等による有収率が低下してきている。コスト・効率の面からも早急に対処しなければならない。
------	---

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	維持継続	中長期的方向	維持継続
	説明	この事業は、災害にも強く、漏水を少なくし、有収率を上げるためにも短期間で事業を推進したいが、企業会計上、これ以上の財政投入は困難であるので、計画的に継続事業として進める。			
決定権者判断	決定内容	維持継続			
	説明	有収率の低下の起因となる漏水を減少をさせるための財源を確保し、有収率のアップ(85%)を目標に、継続事業として進める。			